

# 評価結果報告書

## 地域密着型サービスの外部評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	<u>11</u>
1. 理念の共有	2
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	<u>2</u>
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	<u>6</u>
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	<u>11</u>
1. その人らしい暮らしの支援	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
<b>合計</b>	<b><u>30</u></b>

事業所番号	3970700146
法人名	医療法人 元湧会
事業所名	グループホーム わいず
訪問調査日	平成20年10月22日
評価確定日	平成20年12月9日
評価機関名	社会福祉法人 高知県社会福祉協議会

**○項目番号について**  
 外部評価は30項目です。  
 「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。  
 「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。  
 番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載しています。

**○記入方法**  
 [取り組みの事実]  
 ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。  
 [取り組みを期待したい項目]  
 確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に○をつけています。  
 [取り組みを期待したい内容]  
 「取り組みを期待したい項目」で○をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

**○用語の説明**  
 家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。  
 家族 = 家族に限定しています。  
 運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。  
 職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。  
 チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

# 1. 評価結果概要表

## 【評価実施概要】

事業所番号	3970700146
法人名	医療法人 元湧会
事業所名	グループホーム わいず
所在地 (電話番号)	高知県四万十市大橋通り6丁目7番5号 (電話) 0880-34-5335

評価機関名	社会福祉法人 高知県社会福祉協議会		
所在地	高知市朝倉戊375-1高知県立ふくし交流プラザ内		
訪問調査日	平成20年10月22日	評価確定日	平成20年12月9日

## 【情報提供票より】(平成20年10月1日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	平成15年3月1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	9 人	常勤9(内兼務1)人、非常勤0人、常勤換算 8.4人	

### (2) 建物概要

建物形態	<del>併設</del> 単独	新築	<del>改築</del>
建物構造	鉄筋コンクリート造り		
	4 階建ての	階 ~	2 階部分

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	24,000~36,000 円	その他の経費(月額)	12,000 円	
敷金	有( 円)	<del>無</del>		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有( 円)	有りの場合 償却の有無	有/無	
食材料費	朝食	300 円	昼食	300 円
	夕食	400 円	おやつ	円
	または1日当たり 1,000 円			

### (4) 利用者の概要(10月1日現在)

利用者人数	9 名	男性	0 名	女性	9 名
要介護1	2 名	要介護2	3 名		
要介護3	3 名	要介護4	1 名		
要介護5	0 名	要支援2	名		
年齢	平均 91 歳	最低	85 歳	最高	99 歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	吉井病院、渡川病院、宮定歯科、クリニックあい
---------	------------------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

<p>四万十市の中心部に位置し、近くには警察、大型スーパー、公園等が在る医療機関に併設した典型的な都市型のグループホームである。職員全員が利用者の尊厳を重視し、暖かな家庭的雰囲気を作り上げている。介護計画の策定も「利用者本位」を念頭に置いて策定しており、好感が持てる。外出の機会も多く、利用者の希望に沿った支援を行っていることが窺われる。一方、都市型グループホームなりの悩みもあり、近隣・地域との関わりがなかなか取れず、地域との関係構築への苦労が垣間見られる。今後、グループホームで行われる行事への参加を呼び掛けていくとのことであり、これからの地域との関わりに期待したい事業所である。</p>
--

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回の外部評価で出てきた課題に対して改善計画は立案されているが、現実的な改善に向けた取り組みに至っていないのが現状である。長期的視野にたった計画を策定の上、解決可能な課題から取り組んでゆくことを期待したい。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回の外部評価では管理者のみで自己評価を行っていたが、今回は可能な限り多くの職員とともに検討し、策定している。多くの職員が関わる中で、管理者だけでは見えてこない点も現れると思うので、今後ともこの体制を維持、発展させることを期待したい。</p>
重点項目②	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>運営推進会議では日々の出来事や行事の報告は勿論の事、課題点や外部評価の報告、それらに対する意見も出されている。とすれば一方的な会議になりがちだが、事業所側から意見を出しやすい雰囲気作りなどの努力も成されている。家族や市の担当者はもとより、地域の区長さんの出席も得られており、地域との関係構築にも役立っている。</p>
重点項目③	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>苦情箱の設置だけではなかなか声は届かないとのことで、家族来訪時にちょっとした会話の中から問題点や不足点を拾い出し、職員間で話し合うといった事業所の努力が見られる。</p>
重点項目④	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>都市型グループホームであり、地域との関係性の構築が難しく苦悩しているが、事業所側からのアプローチが積極的であるとは言い難いのも事実である。「このあたりは街中でアパートばかりだから」と消極的になっている面が見られる。待つのではなく事業所側から進んで出向いてみる事から始めることで糸口をつかむなど、より一層地域に密着した事業所となるよう、今後の取り組みを期待したい。</p>

## 2. 評価結果（詳細）

（  部分は重点項目です ）

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念  地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	<input type="checkbox"/> 地域密着型サービスとして、独自に作り上げられた理念がある。  街中の事業所であり地域との関わりが少ない。意識の中には必要性は十分持っているが現実のものとならないため地域密着型サービスとしての役割を盛り込んだ理念の策定ができていない。	○	グループホームの最大の特徴である地域密着ということを理念に掲げることにより、地域への働きかけも「地域密着型の施設だから」と声を上げやすくなると思われるので、職員で話し合い、理念に地域密着型サービスとしての役割を盛り込むことを期待したい。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み  管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	<input type="checkbox"/> 理念について職員間で話し合いの機会をもち、意識づけがされている。 理念の意義は職員に理解されているが、折に触れての意識付けが行われていない。 <input checked="" type="checkbox"/> 日々のサービスの提供場面(言葉づけ、態度、記録等)において、理念が反映されている。  常に意識しているわけではないが、日々の業務の中においては実施・反映されている。	○	常に理念を考えることは無理でも、定期的に周知することで意識付けは十分出来るものである。「サービスの提供は理念があって出来るもの」との気持ちを持つことにより、サービスの提供場面でより良い影響が出てくることを期待したい。
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	5	○地域とのつきあい  事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	<input checked="" type="checkbox"/> 地域住民の一員として、町会、自治会等に参加している。 会費は払っており、回覧板も来る様になっている。  <input type="checkbox"/> リサイクル活動や行事など地域活動の情報を集め、それらに参加するなど、接点を持つ努力をしている。  年1回の地域の防災訓練と、同時開催される花見への参加はしているが、事業所から積極的に地域と関わりを持つことはない。	○	地域との関係は、グループホームにとって欠かせないものであり使命である。地域との関係構築ができれば当事業所の知名度と存在感も上がり、地域になくってはならない存在にもなり得る。待つのではなく積極的にアプローチしてゆくことで相互理解を深めることを期待したい。
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	7	○評価の意義の理解と活用  運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> サービス評価を実施するにあたり、評価の意義とねらいについて運営者、管理者、職員で話し合い、全員で自己評価に取り組んでいる。  可能な限り参加できる職員と管理者で話し合い、取り組んでいる。  <input type="checkbox"/> 評価で見出された課題について改善計画を立て、その実施に取り組んでいる。 改善計画は策定されているが、その実現に向けた取り組みが成されていない。話し合いの機会も今のところない。	○	改善計画をしっかりと策定しているのだから、それを現実のものとするべく行動をすることが重要である。実行力は備えていると思われるので、全てを一気に克服するのは難しくても、改善計画を短期・長期と分け、可能な課題から一つずつ解決してゆく努力を期待したい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み  運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	<input checked="" type="checkbox"/> 会議では、事業所からの報告とともに参加メンバーから質問、意見、要望を受け、双方向的な会議となるよう配慮している。 運営推進会議では日々の出来事や行事の報告は勿論の事、課題点や外部評価の報告なども行い、また、事業所側から積極的に働きかけ、メンバーからの意見を引き出している。 <input checked="" type="checkbox"/> 評価で明らかになった課題について会議で報告し、改善に向けて取り組んでいる。 評価結果については運営推進会議で報告し意見も出されている。		
6	9	○市町村との連携  事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> 市町村職員の研修場所として事業所を活用してもらったり、また市町村担当窓口に対して、事業所の実情やケアサービスの取り組みを折に触れて伝えるなど交流を図っている。  市の担当者とは折に触れ話す機会を持っており、交流が盛んである。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告  事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 家族等の来訪時には声をかけ、利用者の状況や家族のことについて話し合っている。 来訪時には折に触れ話をしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者の事業所での暮らしぶりやエピソードなど、手紙や写真等で伝えている。 「わいず通信」で事業所全体のことを、ハガキで利用者個々の近況を伝えている。 <input checked="" type="checkbox"/> 心身の状況について、何らかの変化や問題が起きた時に必ず報告している。 緊急時等には必ず連絡している。 <input checked="" type="checkbox"/> 金銭について使途の確認や金銭出納帳等を明示し、その都度あるいは定期的に報告している。 前回の改善課題であり、面会時等に家族の確認を取っている。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映  家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	<input checked="" type="checkbox"/> 家族会や家族同士の集まりの場で意見を出せるような仕組みを作っている。 家族会としての立ち上げは正式には行ってないが、行事の際には出来るだけ参加してもらい話や意見を聞くような体制は取っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 苦情への対応で終わりではなく、その苦情の発生要因を探り、課題を検討し、質の向上をめざす取り組みをしている。  正式な苦情ではなくても、耳に入った声に対しては職員間で話し合い、検討して、質の向上に努めている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
9	18	○職員の異動等による影響への配慮  運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	<input type="checkbox"/> 利用者にとって馴染みの職員が継続的に支える体制となっている。 法人内における異動が頻繁にある。  <input type="checkbox"/> 職員が代わる時は、引き継ぎの期間を十分に取、スムーズに移行できるように配慮している。  引き継ぎ期間は取っておらず、スムーズな移行が出来ているとは言い難い現状であり、それについては職員も自覚している。	○	法人の方針としての異動が頻繁に行われているようであるが、利用者の「なじみと安心」を考えた場合、グループホームの特性を法人に理解してもらい対応を取る事が利用者のためであるので、改善に向けた取り組みを行うことを期待したい。
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み  運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	<input checked="" type="checkbox"/> 日常的に学ぶことを推進し、パート職員にもチームの一員として、研修・会議等参加の機会がある。 県内や近隣で行われる研修会等への参加は可能であり、希望する研修に参加できる体制は整っている。  <input type="checkbox"/> 全職員が共有できるよう、研修内容を報告する機会を作っている。  研修会の資料は提出しているが閲覧できるようになっていない。また、ミーティング等での報告も実施していない。	○	研修内容を全職員が共有できるように、報告会や資料の閲覧等を実施することが望まれる。
11	20	○同業者との交流を通じた向上  運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	<input type="checkbox"/> 県内、全国組織の同業者ネットワークに加入し、サービスや職員の質向上につなげている。 メリットが少ないとの事で、県内・全国組織の同業者ネットワークから脱会している。  <input checked="" type="checkbox"/> 管理者・職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、職員のサービスや質向上に努めている。  近隣の同事業所との交流は盛んであり、相互訪問を行い情報交換を行っている。		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用  本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気から徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	<input checked="" type="checkbox"/> 入居希望者の入居に際し、その者の心身の状況、生活歴、病歴等の把握に努めるとともに、本人、家族等の意向も確認している。  入所時に情報収集を行っている。  <input checked="" type="checkbox"/> 本人や家族に事業所の見学や体験をしてもらっている。  相談があった時は必ず見学をしてもらっている。自宅に訪問し説明する体制も取っている。  <input checked="" type="checkbox"/> 入居希望者には、複数の職員が面接を行っている。  管理者と職員が面接を行い状況把握に努めている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○ 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>日々の生活場面の中で、支援する側、される側という認識は持たず、お互いが協働しながら和やかな生活ができるような場面作りがある。</p> <p>一緒に生活しているという気持ちを持ち、サービス提供場面でも協働することに心がけ、穏やかな生活が送れるよう対応している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>職員は利用者と共に暮らす者同士として、「哀しみ」、「不安」、「喜び」、「楽しみ」などの本人の思いを共感し、理解している。</p> <p>利用者の表情を観察して喜怒哀楽を理解し、声掛けや見守りによりタイミングを見計らって支援につなげている。</p>		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>一人ひとりの思い・暮らし方の希望・意向の把握に努めている。</p> <p>利用者の話や表情から出来る限り汲み取るように心がけている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>意思疎通が困難な方には、ご家族や関係者から情報を得るようにしている。</p> <p>家族は勿論の事、職員や身内の方からの情報も得ている。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>○チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>本人やご家族等からの気づき、意見、要望等を反映した介護計画が作成されている。</p> <p>本人、家族からの意見等を反映し、計画の立案に当たっては「利用者第一」で考えている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>アセスメントを含め職員全員で意見交換やモニタリング、カンファレンスを行っている。</p> <p>再評価時はもちろん、状況に応じて計画の見直しを行っており、その際には職員の意見をしっかりと反映させるようにしている。</p>		
16	37	<p>○現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>介護計画は、設定された期間ごとに見直しされている。</p> <p>介護計画は3カ月に1回の見直しを行っている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>ワンパターンの期間設定ではなく、本人、家族の要望や状態に変化が生じた場合には、その都度見直し、計画内容に応じた個別の期間設定をしている。</p> <p>継続プランになることもあるが、細かい変化があれば変更するなど臨機応変に対応している。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○ 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用)					
17	39	<p>○事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>医療機関と連携して、医療処置を受けながら事業所で生活が継続できるように努めている。</p> <p>協力医療機関が同一敷地内にあり、密接な協力体制が取れているので、医療処置を受けながら事業所で生活が継続できる体制となっている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>本人、家族の状況に応じて、通院や送迎、特別な外出、外泊などの支援を行っている。</p> <p>遠方の外出や特別な外出は家族にお願いしているが、家族の調整がつかない時は事業所に対応している。</p>		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援との協働					
18	43	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>いままでのかかりつけ医や本人・家族等が希望する医療機関・医師に受診できる支援ができています。</p> <p>専門的な治療が必要なときは受診できるよう支援している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>受診や通院は、本人やご家族の希望に応じて対応している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>受診結果に関する情報の共有ができています。</p> <p>医療機関・事業所・家族間の情報共有に関する連携はとれており、利用者の受診結果は把握出来るようになっている。</p>		
19	47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p><input type="checkbox"/>終末期の対応方針を定め、家族・医師・看護師を交えて話し合いを行っている。</p> <p>運営推進会議では話が出た事もあったが、対応方針や現実的な話し合いはできていない。</p> <p><input type="checkbox"/>本人や家族の意向を踏まえ、医師、職員が連携をとり、安心して納得した最期が迎えられるように取り組んでいる。</p> <p>過去においても対応した事はない。</p>	○	<p>重度化や終末期の対応はいつ起こってもおかしくないことであり、利用者や家族の当事業所に対する安心感を確保するためにも、対応手順を策定し、関係者で話し合いを持つことを期待したい。</p>

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底  一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	<input checked="" type="checkbox"/> 人前であからさまに介護したり、誘導の声かけをして、本人を傷つけてしまわないように、目立たずさりげない言葉かけや対応に配慮している。 入浴やトイレ誘導等、プライドを傷つけないような言葉使いに配慮している。  <input checked="" type="checkbox"/> 他の家族や外来者に対して、職員が利用者のプライバシーに関する話をささないことを徹底している。  当然の事として利用者の話は関係者以外にはしないようにしている。  <input type="checkbox"/> 全ての職員が、個人情報保護法の理解に努め、徹底されている。 ミーティング等においてとりたてて話をする機会は設けていない。	○	個々の職員は、利用者のプライバシーやプライドを念頭に入れ、しっかりとした支援を行おうとしている。ただ、日々の業務の中で、多忙な時など、ほんのちょっとした時に配慮に欠ける場合もあるので、個人情報保護の重要性について、職員会等を通じて徹底することを期待したい。
21	52	○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	<input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりが「その日」にどのように過ごしたいかを把握し、それに応じて柔軟に支援している。 表情や会話の中から出来るだけ察するようにし、可能な限り対応している。  <input checked="" type="checkbox"/> 事業所の業務スケジュールに利用者の生活を合わせていない。 基本的な事業所としてのスケジュールはあるが、利用者の希望に沿って変更している。		
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	<input checked="" type="checkbox"/> 献立づくりから調理、片付けに至るまで、食事に関する一連の流れを職員が一方的に進めるのではなく、利用者の意志や気持ちを大切に進めている。 その日の利用者の状況を見て、役割を持ってもらっている。  <input checked="" type="checkbox"/> 職員は食事の介助にとどまらず、利用者と職員が同じものを一緒に食べている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援  曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	<input checked="" type="checkbox"/> 利用者のこれまでの生活習慣や希望にあわせて入浴できるよう、職員勤務体制等について工夫をしている。 入浴は午後から毎日希望を聞き実施している。  <input checked="" type="checkbox"/> 入浴を拒む人に対しては、言葉かけや対応の工夫、チームプレー等によって一人ひとりにあわせた入浴支援を行っている。  無理強いせず、適切な声掛けや時間を変えて支援している。どうしても無理な時は清拭等に変更している。		



外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○ 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援  張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 何がその人の役割、楽しみごとになり得るかを把握し、食事作りや庭木の剪定など利用者の経験や知恵を発揮する場面を作っている。  生活歴等から得た情報や会話の中から、出来る事や得意な事を把握しており、利用者ができる場面や可能な時は役割を持ってもらっている。  <input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの役割、楽しみごと等を作り出すため働きかけを行っている。		
25	61	○日常的な外出支援  事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	<input checked="" type="checkbox"/> 近くへの散歩だけではなく、その人の馴染みの店や場所へ出かけている。  天気の良い時は近くの公園に散歩にでかけ、月に1回は全員で外食に出かけるなど機会は多い。  <input checked="" type="checkbox"/> 歩行困難なケースでも、車や車いす等を利用し、戸外へ出ることを積極的に行っている。  今までに常に車椅子が必要な利用者はいなかったとの事だが、車椅子で外出することは可能である。  <input checked="" type="checkbox"/> 日常的に散歩、買い物あるいはドライブ等に出かけている。  月に1回はドライブに出かけている。		
<b>(4) 安心と安全を支える支援</b>					
26	66	○鍵をかけないケアの実践  運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	<input type="checkbox"/> 居室や日中玄関に鍵をかけていない。  事業所が2階であり玄関が自動ドアとなっているが、利用者にとってはドアを開けるための操作は難しいと思われる。また、チャイムセンサーを利用し頼っている。  <input checked="" type="checkbox"/> 利用者一人ひとりの外出の習慣や傾向を把握して、対応している。  利用者の行動傾向は把握しており、行動を止めることなく落ち着くのを待ち、一緒に行動している。  <input type="checkbox"/> 近所の人にも理解を求め、見守り、声かけや連絡をしてもらえる関係を築いている。  街中の事業所であり地域との関わりが少ないため、なかなか関係構築ができないのが実状である。	○	利用者の行動傾向は把握出来ており、職員の観察力を生かして十分対応可能な力も持っていると思われるので、利用者が実質的に外に出られなくなる事の無いよう、自由な暮らしを支援することを期待したい。また、もしもの事態の発生を考えた場合、近隣の協力は欠かせないので、協力してもらえる関係作りに努力されたい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	<input type="checkbox"/> 事業所だけの訓練ではなく、地域住民の参加、協力を得ながら避難訓練等を定期的に実施している。 地域の防災訓練には参加しているが、事業所が行う防災・非難訓練に地域の協力は得られていない。 <input type="checkbox"/> 避難路の確保(整理整頓)や消火器等の設備点検を定期的に行うとともに、非常用食料・備品を準備している。 非常用食料の備蓄がされていない。	○	災害時等に地域住民の協力を得ることは安心・安全な生活を送る為に必要不可欠な事であるので、地域住民参加による避難訓練の実施と非常用食料等の準備が望まれる。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの一日の栄養摂取総量や水分量を把握している。 日常の記録の中に利用者の食事の摂取量は記載されているが水分摂取量の記載はない。しかし、体調の変調時は細かくチェックし、対応している。 <input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの嗜好を把握し、献立に採り入れながら、栄養バランスにも配慮している。 利用者の嗜好を聴取し、好みでないものでも調理に工夫を凝らし摂取できるよう対応している。 <input type="checkbox"/> 定期的に、栄養士や保健師等に専門的な観点からチェックしてもらっている。 事業所から併設病院の栄養士に個別の相談をする事はあるが、事業所で提供しているメニューの定期的なチェックは受けていない。	○	利用者の健康管理の面からも、日々の食事のメニューが適切であるかどうかのチェックは大変重要であり、専門家による定期的なチェックが望まれる。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 利用者にとって使いやすい配置や馴染みの物を採り入れた共用空間になっている。 シンプルながらも整理されており、使いやすさや馴染みやすさに工夫している。 <input checked="" type="checkbox"/> 天井や壁面に掛けられた折り紙等の飾り付けが、家庭的な雰囲気を壊していない。 折り紙を飾ったりして工夫し、家庭的雰囲気は壊していない。 <input checked="" type="checkbox"/> 季節感のある装飾等に工夫するなど、季節感や五感の刺激にも配慮している。 花瓶に季節の草花を飾るなど、季節感に配慮している。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 使い慣れた馴染みの物を傍に置くなど、本人や家族と相談しながら個別に工夫している。 家族の写真などを飾り、各居室が画一的にならないように工夫している。 <input checked="" type="checkbox"/> 家族の協力が得られない等の場合でも、本人の意向を確認しながら、その人らしく居心地のよい居室づくりに取り組んでいる。		